

製品名: PTK6 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80582

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	PTK6
別名	BRK; FLJ42088
遺伝子 ID	5753.0
SwissProt ID	Q13882
免疫原	大腸菌で発現したヒト PTK6 の精製された組み換え断片。

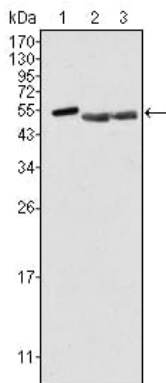
背景

PTK6 (タンパク質チロシンキナーゼ 6、BRK または FLJ42088)は、451 アミノ酸のタンパク質(約 52kDa)で、上皮組織で細胞内シグナル伝達物質として機能する可能性のある細胞質非受容体タンパク質キナーゼをコードしています。核内に存在することが、腫瘍の進

行抑制に関係していると考えられます。コードされているタンパク質は、自己リン酸化を受けることが示されています。結腸では非常に高く、小腸と前立腺では高く、一部の胎児組織では低いレベルで発現しています。また、一部の乳房腫瘍では低レベルで発現していますが、正常な乳房では発現していません。メラノサイトにも見られますが、心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、脾臓では発現していません。乳腺上皮細胞でこの遺伝子が過剰発現すると、上皮成長因子に対する細胞の感作が起こり、部分的に形質転換した表現型が生じます。

研究分野

画像データ



HeLa (1)、A549 (2)、MCF-7 (3) 細胞溶解物に対する PTK6 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。